

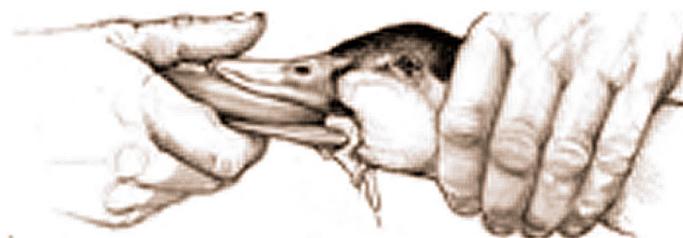


美食の国ベルギーには  
シェフが本物と間違うほど  
美味しい植物性の疑似フォアグラ  
*Faux Gras de Gaia*もあります！

"フォアグラの給餌方法とその添加物は、ストレス、  
傷、病気を鴨およびガチョウに引き起こし、物理的、  
生理学的にも彼らの健康と福祉に非常に有害な状態を  
もたらす事から、決して許される事ではない。"  
歐州連合 フォアグラの生産における鴨とガチョウの  
使用についての勧告（1999年7月22日付）

"フォアグラは、脂肪肝に苦しむ鳥の病的な肝臓である。"

欧州委員会 科学レポート（1998年12月16日付）



Foie Gras  
太った肝臓

## 金属管とフォアグラの関係

フォアグラは、アヒルたちに20~30cmの金属管を喉に突き刺し、大量の餌を無理やり流し込むことで、肝臓を10倍に肥大化させて作られます。重篤に病気の肝臓です。アヒルたちは呼吸困難、下痢、消化器官の致命的な損傷を負い、もがき苦しむのです。口ばしさは麻醉なしで一部を切断されます。金属床の小さなケージに閉じ込められ、足を怪我し、動くことも羽を広げることもできません。このような虐待をしてまで食べるべきでしょうか？



## 食品生産にも倫理規定を

"いかなる動物にも、不必要的苦しみや傷を与えるような給餌は行われるべきではない。"

欧州委員会 動物福祉・健康部門（1998年7月20日付、理事会命令98/58/EC）



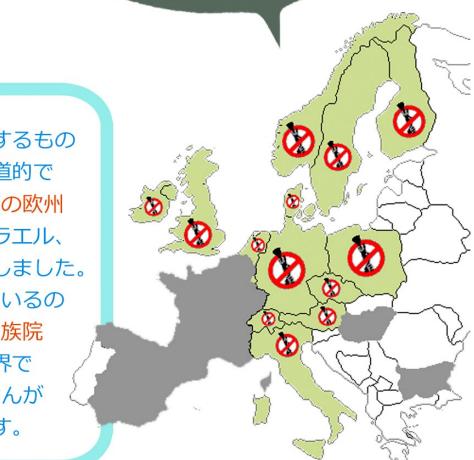
### 私たちができること

この残酷な食文化、もうやめにしたいですよね？  
欧州委員会の勧告などでは、家畜に対しても虐待を許さない姿勢が明確ですが、産業界の圧力や伝統・慣習を覆すのは簡単なことではありません。産業界に「食品生産の倫理」を求めるためには、私たち一人一人の行動が必要です。消費者としての私たちが、フォアグラを「買わない」・「食べない」・「良しとしない」、という意思表示をすることで、日本への輸出が減り、生産国で地獄の苦しみを受けるアヒルたちが減るのです。世界的に広がる「フォアグラ廃止キャンペーン」に、私たちも参加しましょう！  
➡ (日本語版) <http://www.stopgavage.com/ja/>

### 政府も王室もハリウッドも動く

フォアグラは、欧州連合「畜産動物の保護の原則」に反するものです。フォアグラ生産に用いられる「強制給餌」が非人道的で残酷という理由で、1999年のポーランド以降、既に殆どの欧州連合加盟国で禁止となりました。世界へと広がり、イスラエル、アルゼンチン、米カリフォルニア州などが禁止令を制定しました。オランダ王室は、2009年に宮廷晩餐会でフォアグラを用いるのをやめると決定。伝統のイギリス議会でも、2012年に貴族院に付属の高級レストランからフォアグラを廃止。セレブ界でも、映画タイタニックに主演のケイト・温斯レットさんがフォアグラ廃止を訴えるなど、この流れは加速しています。

En partenariat avec  
STOP GAVAGE  
[www.stopgavage.com](http://www.stopgavage.com)



Contact : [HelpOurBelovedAnimals@gmail.com](mailto:HelpOurBelovedAnimals@gmail.com)



ご賛同頂ける方は今すぐ署名を！

<http://www.stopgavage.com/ja/manifesto>

